

# デスカンファレンスにおける MSWの役割を考える

平成31年3月9日（土）

所属 地方独立行政法人大牟田市立病院  
地域医療連携室

演題発表者 由佐 貴裕

## **【研究目的】**

**デスカンファレンスにおける  
MSWに求められる役割を明らかにし  
支援の質向上に繋げる**

## 【研究方法】

- 事例を振り返り支援経過を考察する
- 在宅支援者に質問紙法調査を行い結果を分析する

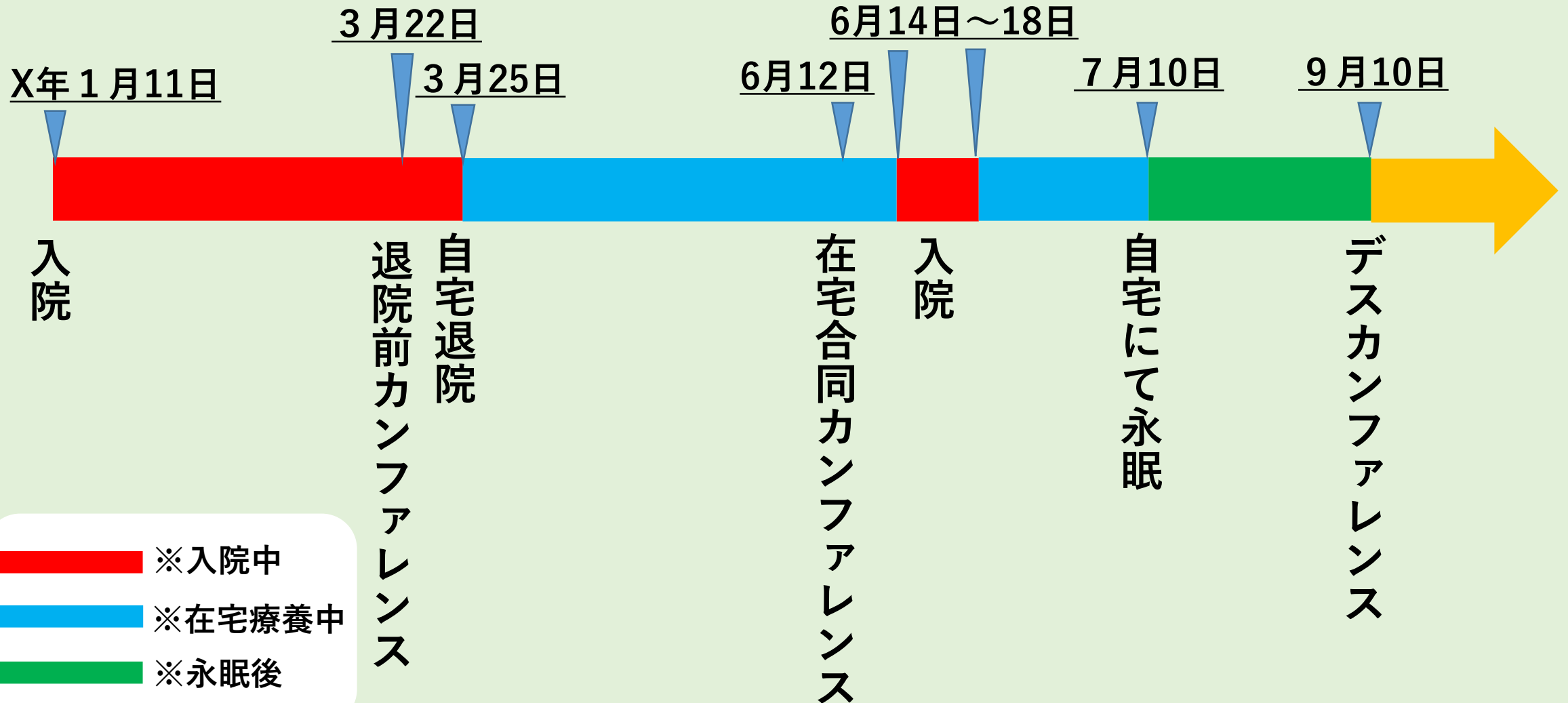
## 【倫理的配慮】

- 本調査で得られた結果は個人が特定されないよう無記名で処理した
- 調査協力は自由意志であり調査に協力しなくても不利益が生じないこと  
ならびに結果は公表される可能性があることを説明  
同意を得た

## 【事例紹介】

- A氏 90歳 男性
- 右声門上癌
- 気管切開後 スピーチカニューレ使用 胃瘻造設後
- 妻 長女 孫と同居
- 要介護2（1月～3月の入院中に申請）

# 【支援経過】

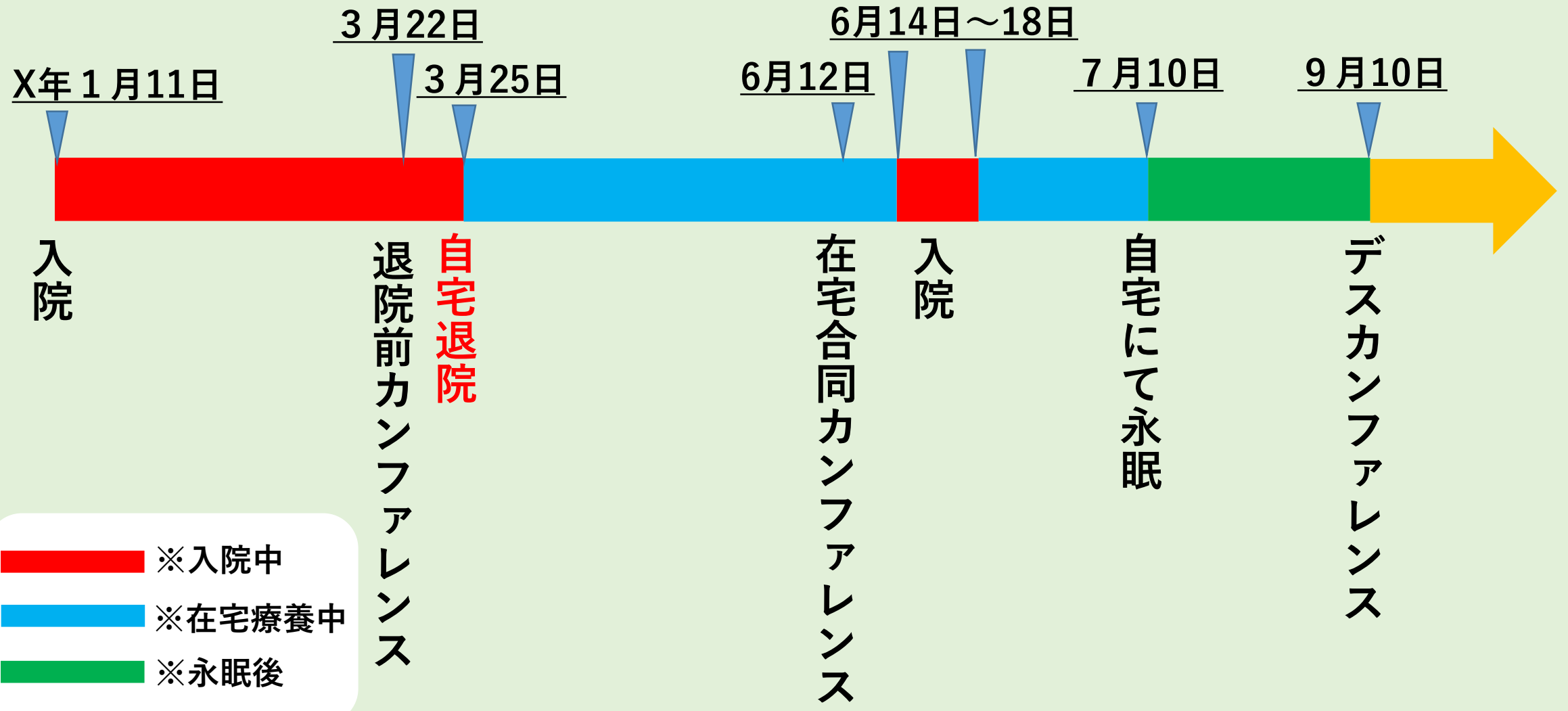


# 【3月22日 退院前カンファレンス】

## ～退院後関わる主な社会資源～

- 病院への通院（月1回）
- 今後の在宅医への通院（月1回）
- 訪問看護（1日2回訪問）

# 【支援経過】



※入院中  
※在宅療養中  
※永眠後

## 【訪問看護師より相談】

- 5月中旬から徐々にADLが低下
- 6月5日から在宅医が訪問診療開始
- 自己喀痰難あり
- 発声困難
- カニューラの種類検討のため在宅医がカンファレンスを希望



# 【6月12日 在宅合同カンファレンス】

## 【参加者】

- 在宅医
- 訪問看護師
- ケアマネジャー
- 主治医
- B階病棟看護師長
- 地域医療連携室 MSW（司会）
- がん相談支援センター 看護師

# 【在宅合同カンファレンス内での意見】

- ・ カニューレの種類について

発声困難な状態→カフ付きカニューレへ変更が望ましい

- ・ 今後の療養の場について

A氏：在宅希望（来院不可のため家族・訪問看護師が聴取）

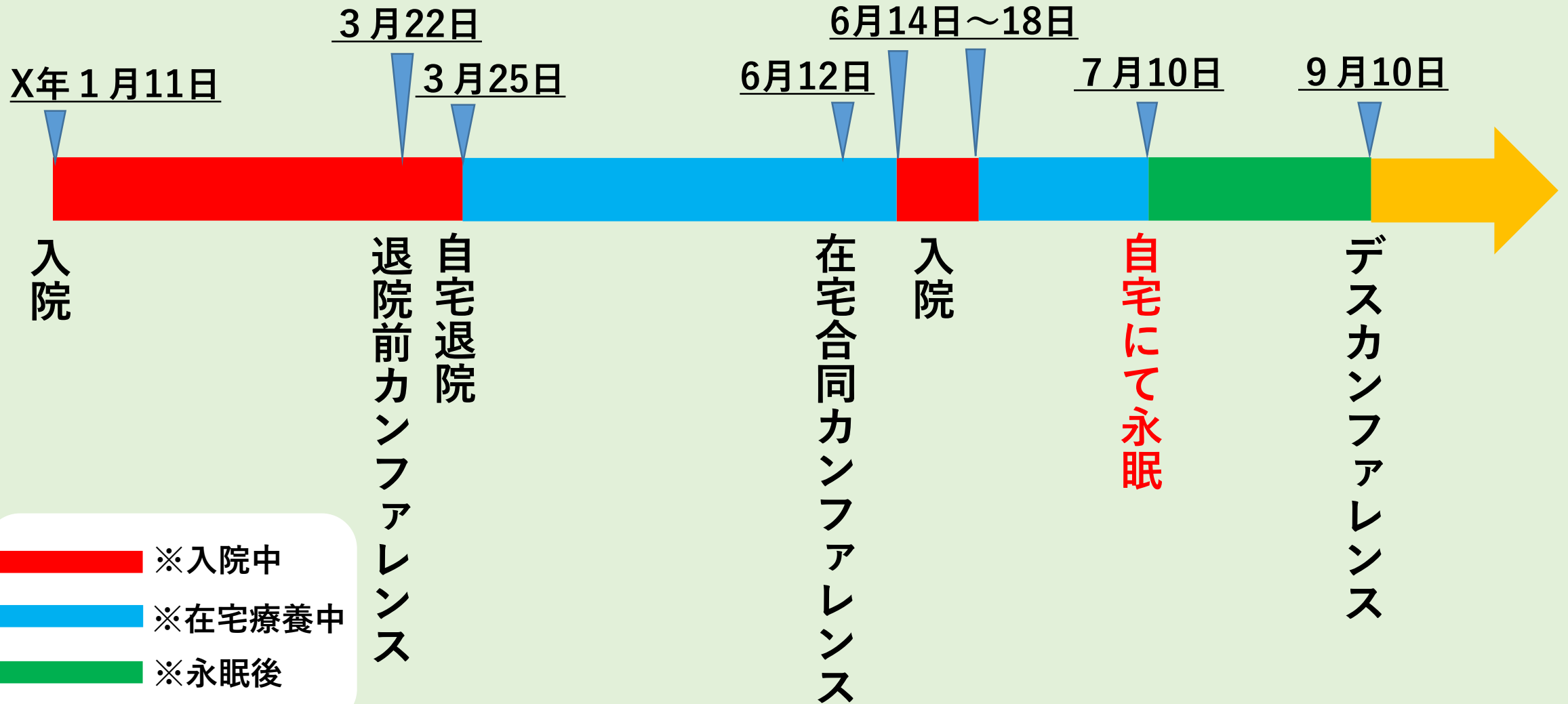
妻：自宅で看たいが看取りまでできるか不安

長女：A氏を看る母の体調も心配

→ カニューレ交換・家族のレスパイト目的で6月14日～入院

→ 6月18日自宅退院

# 【支援経過】

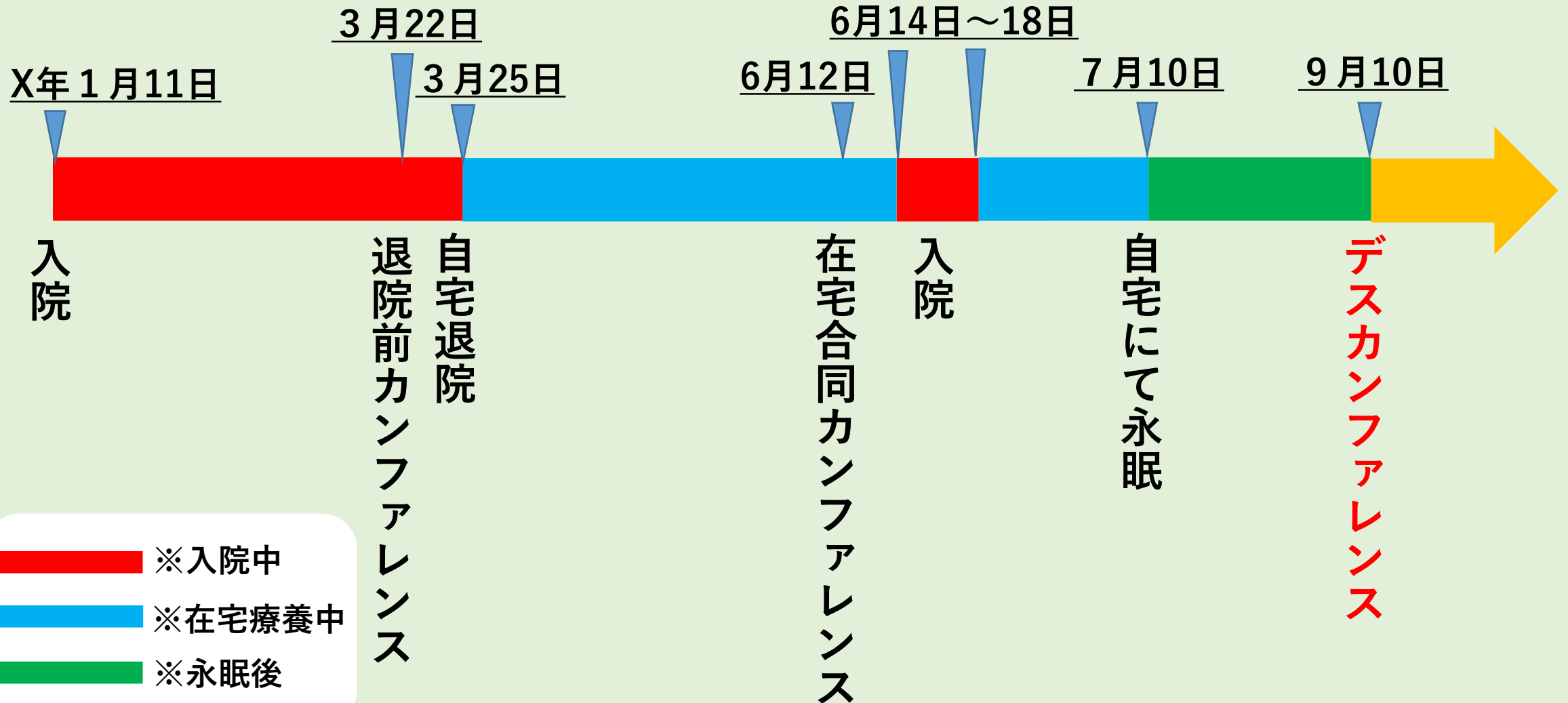


# 【7月10日AM6時 自宅で看取り】

## ～在宅医より～

- 家族はA氏が希望された在宅での生活・看取りを行えた事への満足度は高かった
- 在宅での看取りに不安を感じていた妻も充実した日々を送ることができた

# 【支援経過】



# 【9月10日 デスカンファレンス】

## 【参加者】

- 在宅医
- 訪問看護師
- ケアマネジャー
- 主治医
- B階病棟看護師長
- 地域医療連携室 MSW（司会）
- がん相談支援センター 看護師

## 【デスカンファレンス内での意見】

- ・ 病院側からも入院の選択肢を提案した事  
→ 家族の在宅での看取りへの不安を受容した
- ・ 在宅合同カンファレンスを開催した事  
→ 退院後も病院と連携している事を家族にも再確認できた

## 【質問紙法調査での意見：在宅合同カンファレンス】

- ・ 退院後の家族の不安や大変さを皆で共有した  
→ 患者・家族の気持ちに寄り添った支援体制を検討する事ができた
- ・ カニューレ交換・家族のレスパイトケア目的の入院に繋がった  
→ 家族が在宅生活に対して気持ちを整理する時間を作ることができた



## 【質問紙法調査での意見：デスカンファレンス】

- 支援経過を再整理できた
- 今後他の患者に対して良いケアや相談が出来る
- 自分自身の振り返りもでき  
カンファレンスの必要性を感じる事が出来た
- デスカンファレンスの開催はもう少し早い方が良かった

# 【デスカンファレンスの定義と開催時期】

## ・デスカンファレンスの定義

「患者の死後に行われるカンファレンスであり  
ケアの振り返りや看護の妥当性の検証・燃え尽き  
症候群の予防につなげる」<sup>1)</sup>

## ・デスカンファレンスの開催時期

「死亡から2週間～1ヶ月程度が多い(中略)」<sup>2)</sup>

## 【考察】

- ・デスカンファレンスでの支援経過の振り返り  
→ 参加者の志気向上などに繋がった
- ・デスカンファレンス開催が死亡から2ヶ月後  
→ 参加者の都合を迅速に調整する必要があった

# 【結論】

## ～デスカンファレンスにおけるMSWの役割～

- 病院と在宅の橋渡し役としてカンファレンスの円滑な開催を調整する
- 支援経過の振り返りを通じて問題・課題を共有し地域包括ケアシステムの構築に貢献する

## (引用文献)

- 1) 2) 宮下光令 (2010) 「明日に活かすデスカンファレンス」  
看護技術誌Vol.56 第12回 p 66～67

## (参考文献)

- 厚生労働省 (2002) 「医療ソーシャルワーカー業務指針」  
厚生労働省 (2018) 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」

**ご清聴ありがとうございました**